

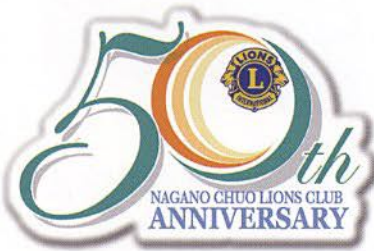


第50期 クラブスローガン

寄り添う奉仕、交流ある例会



クリスマス家族合同例会



Congratulations ! 50th ANNIVERSARY



企業訪問例会



献血活動/サーブディ

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

例会ニュース

■ 12月第二例会〈クリスマス家族合同例会〉12月22日（金）18：00

PR・情報・記録保存・会報・IT / YCE・青少年指導・LCIF委員会 担当（L. 倉野立人 L. 金守秀夫）



会員と家族が、和気あいあいのうちに懇親を深める機会とする恒例のクリスマス例会が行われ、今回は、ちょっとイキな企画となりました。

開宴前アトラクションを「長野カトリック教会」に在籍する在日フィリピン人の方々が行なってくれたのです。というのも、彼女ら（彼ら）は、かねてより、当クラブが行なっている「フードドライブ」や「フィリピン医療支援活動」などのアクティビティーに対し、何らかの形で感謝の意を表したいと申されており、ついでに、この機会に、その気持ちをスピーチと歌に込めて演じてくれたのです。

訊けば、この日に合わせてリハーサルを重ねたそうで、ステージに仲良く並んだメンバーは、手づくりのコーラスを通じて感謝の気持ちを表現してくださいました。

冒頭、教会のシスターがフードドライブやフィリピン医療支援、また昨年フィリピン本土を襲った台風への支援などに対し感謝の言葉を述べられました。その、直（じか）に語られた感謝の言葉を聞いたライオン諸氏は、冥利に尽きた面持（おもも）ちになっていました。

シスターの心に染み入る感謝のスピーチの後、みんなでクリスマスメドレーを歌ってくれました。佳境に入ると、前列の子供達が、トナカイの角（つ）を模したカチューシャを付け、センターのボクは♪「まっ赤なお鼻のトナカイさんは〜」ヨロシク、赤い鼻になっていました。

やがてフィナーレを迎え、私たちはうれしいサプライズを受けます。歌っていた子供達がステージを降り、客席にチョコレートを配ってくれたのです。これには一同もうれしいような気恥しいような・・・それでも無垢な子供達のささやかなプレゼントを笑顔で受け取っていました。

ライオンズクラブの奉仕を受けたみなさんが、このような機会を通じて感謝の気持ちを体現してくださったのは、在日フィリピンの方々にとっても、私たちライオンズメンバーにとっても活動の「手応え」が実感できた心温まるひとときとなったものでした。

その後、会長サンタと幹事トナカイのプレゼントタイムなどで大いに盛り上がりました。



■ 1月第一例会〈新年合同例会〉

1月13日（木）15：30

ホストクラブ 長野りんどうLC



平成27年、新たな年を寿（ことほ）ぐ新年合同例会が、3つのゾーンの会員が一堂に会し盛大に行われました。

L. 笠原文武 334-E 地区ガバナーを迎え、本年も「ライオンズの誓い」の下、地域社会に貢献できる奉仕活動に邁進していくことを出席者の総意で確認しました。

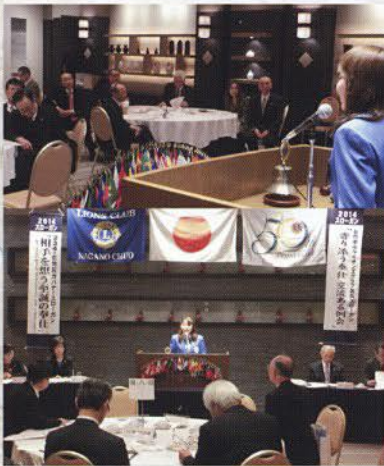
祝賀会ではジャズ演奏とベリーダンスが披露され、クラブの垣根を越えた懇親が図られるなど、乗りノリのひとときとなりました。



■ 1月第二例会 〈一日役員例会〉

1月22日(木) 18:30

計画・財務委員会 担当(L. 増田隆雄)



クラブの役職を体験し、もってクラブ運営に一層の造詣を深めていただくことを期して「一日役員例会」が行われました。

一日役員各位におかれては、クラブ(例会)を円滑に運営する体験を通じ、これからのライオンズ活動に活かしていただくことを期待して止まないところです。

併せてこの日は、YCE 派遣生として、3週間に亘りベルギーに滞在した、近藤菜々美さんの帰国報告が行われました。

近藤菜々美さんは、出席会員を前に、派遣支援に対する改めての御礼を述べられ、さらに派遣国ベルギーでの日々の体験の模様と、今回の派遣を、自分自身のこれからの人生に活かしていきたい旨を非常にハキハキとした口調で述べられました。

彼女自身、国際派遣を通じてひと回りもふた回りも大きく成長した様子が伝わってきました。

近藤さんの元氣な帰国報告を聞いて私たちの奉仕活動は、現下の社会に対する奉仕はもとより、将来社会に向けての「種まき」につながる、若者たちに活躍の場を与える活動(奉仕)の重要性を再認識し、これからも積極的に取り組む意を新たにしました。

なおこの日は、50期上半期決算報告が行われ、承認されました。



■ 2月第一例会 〈企業訪問例会〉

2月12日(木) 11:30

PR・情報・記録保存・会報・IT委員会 担当(L. 倉野立人)

「企業訪問例会」として、L. 納富廣幸が経営する「長野リネンサプライ(株)」を訪問しました。

こちらの企業は、先代が興したクリーニング業を通じて、障がい者の積極雇用による「ノーマライゼーション社会の構築」に積極的に取り組んでおられます。

私たちはその社是に触れもって「ノーマライゼーション社会」構築の一助を成すべき、と、この日の企画となりました。

一行は先ず、工場内でのホテルシーツやタオルのクリーニングや浴衣(ゆかた)の畳み作業や制服のクリーニングなどの作業な内容について見学しました。



作業は、一般社員も障がい者も同じ環境で行われていました。

「一日どの位の数をこなすのですか?」との問いに「全体で5千枚ほどです。」の答え、一同は感心しきりです。いずれにしても、時間が勝負の作業工程の中に、障がい者雇用を積極的に導入し成果を挙げている実績に、一同は身をもって敬意の念を抱いたところです。

工場見学の後、会社概要と障がい者雇用への取り組みについて説明を受けました。説明の中での「当社は、障がい者を障がい者として見ていません。」という言葉が印象的でした。

曰く「障がい者を、特別な存在として見なせば、そこには(イイ意味でも悪い意味でも)偏見が生じてしまうのです。作業能力の差は、すなわち個人の差異であり、障がいの有る・無しは区別の前提にはなりません。」とのこと、この概念こそが真の障がい者支援であることが伝わってきました。

私たちは、今回の企業訪問例会を通じて障がい者雇用における「大前提」をイイ意味で見直す機会となりました。



アクティビティレポート

■ ☆ 334 - E地区フィリピン合同医療奉仕活動



2月6日から9日にかけて「ライオンズクラブ 334-E地区 フィリピン合同医療奉仕活動」が実施され、長野中央ライオンズクラブからは、L.大前、L.齊藤、L.原田、L.倉野、L.有賀、事務局宮本さんの6名が参加しました。

一行は6日深夜にマニラ空港に到着、翌日は午前6時半に集合し、アクティビティを前につかの間のエクスカージョンに参加、他クラブのライオンと意思の疎通を図る貴重な機会となりました。夕方は、日本・マニラのライオンが一堂に会し「結団式」が行われ、一行は決意を新たにしたところです。



7日は ミッション初日、バスで約2時間半をかけ、マニラ北部の「アンガット・ブラカン」に向かいました。この日のアクティビティは、集落のスクールで行われましたが、そこで私たちは、スクールの生徒たちが、日の丸とフィリピン国旗の小旗を振って、大きな声で歓迎の歌を歌いながらの歓迎を受け私たちの医療奉仕への期待の大きさを実感しました。

現地に着いた一行は、息つく間も無く、内科・歯科・眼科の診療科ごとに異なる医薬品や機材をそれぞれのコーナーに運び入れ、医療奉仕活動開始です。



日中は 陽光がさんさんと降り注ぐ 暑さの増す会場でしたが、一行は元気にミッションに臨みました。

私たちは「眼科」のアシストを仰せつかり、長蛇を成した住民の前に、ライオンズクラブメンバーのドクターの簡易診察の後、目薬とメガネを効率よく渡せるよう務めました。日本人ドクターには、長野から参加してくれた在日フィリピン人の方々が通訳をかって出てください、患者とドクターとの「言葉の架け橋」を担ってくれ、非常に大きな助力になっていました。丸一日の奉仕活動でしたが、全員が協力し合い、無事終了を迎えることができました。



ミッション2日目の8日は、バスで1時間弱の「シランガン・ケソンシティー」で医療奉仕を行いました。

この日は 案内のポリスが道を間違え、期せずして、フィリピンでも社会問題になっている、かの「スモーキーマウンテン」と隣接する集落に入ったのです。「スモーキーマウンテン」は、マニラ中で発生する「ゴミ」を集積しているエリアで、そこに付加価値を求め 住民が暮らす「集落」を形成していることで知られていますが、決してイイとは言えないと申せますが、それでも そこには住民が現存し、日常生活を送っていることを目のあたりにする経験をいたしました。

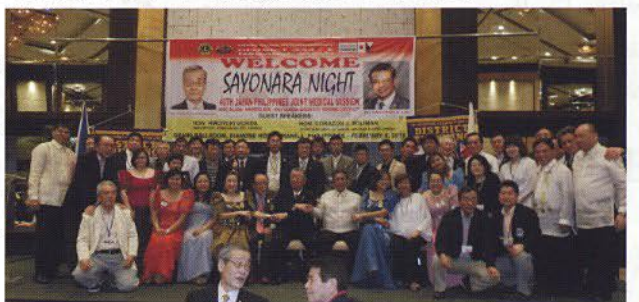


やがてバスは 本来の目的地に到着、この会場でも多くの住民が集まりました。

機材等が搬入され、ドクターのスタンバイができたところで受診開始、先日同様「眼科」のアシストを担う私たちは 片言の英語を交え、精いっぱい奉仕に努めました。

この日も、限られた時間 限られた内容ではありましたが、医療に臨む機会の少ない地元住民のみなさんに せめてものサービスをさせていただきました。

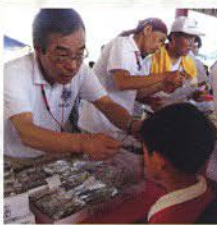
夜は、地元フィリピンのライオンズクラブが主催の晩餐会が行われ、互いに労をねぎらうと同時に、国内クラブやマニラのクラブとの相互親交が図られました。



宴が進むうち、いつしか会場は 大撮影大会に。国籍を超えても「ライオニズム」の精神は共有され、共に奉仕の精神の大切さを確かめ合うことができたひとときでした。

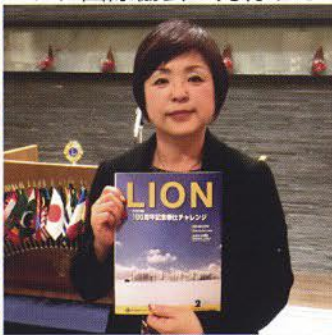
今回の合同医療奉仕活動では、2日間合計 10,244 名もの方々に医療奉仕を行なうことができ、大きな成果となりました。そのうえで、新たな経験と発見、課題も見えた貴重な機会となりました。

次回以降、さらに発展的・継続的な支援が行われることを期待するところです。



クラブアクティビティが「LION誌」に掲載されました！

長野中央ライオンズクラブが取り組むアクティビティ（継続事業）「フードドライブ」が、ライオンズクラブ国際協会が発行する「LION誌」2月号の紙面を飾りました。



これは、国際協会が創立100年を記念し、日本のライオンズクラブ活動の中で「HUNGER（＝食糧支援）」において「フードドライブ」が着目・評価されたものです。

50周年の節目の期に そのアクティビティが、国内3、155クラブの中から国際協会に評価され、LION誌に掲載されたことは非常に名誉なことです。

これを契機に、食を通じた奉仕活動「フードドライブ」の、なお一層の啓発に努め、今後は、この活動をゾーンにまで広げることも視野に、不断の努力を重ねてまいります。

ご関係の皆様には、LION誌2月号25ページを是非ご一読ください。



五十周年 記念事業アラカルト

～一大行事に向け、着々と記念事業の準備等が進んでいます。～



50周年記念大会 大会委員長 L. 小林 昭夫

クラブ設立50周年を記念する事業に向け、それぞれの部署で準備作業が着々と行われています。

50期の節目の年に行われた「フードドライブ」などの継続事業や「音楽リサイタル」などの記念事業が予定どおり実施され、50周年記念事業としての「JR長野駅前広場の時計台設置」も、新幹線金沢延伸に合わせて除幕式が行われることになっております。

また、青少年健全育成に資する「中学生サッカー大会」については、当クラブ50期の節目に合わせるが如く「南長野運動公園総合球技場」が竣工を迎えることから、施設のこけら落としとなるべく、真新しいピッチで開催されることになっております。さらには、5月14日に本番を迎える「50周年記念式典・祝賀会」ならびに翌日の「エクスカッション」に向け、心を込めたおもてなしが体现できるよう、各部会では準備・打合せに余念がありません。

今期のクラブ挙げての取り組みは、将来に向けたクラブ会員の団結心の醸成につながる重要なステップです。各位におかれては、引き続き温かい理解と力強いご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今後の主な予定 (2月20現在)

3月14日(土)	時計台除幕式/JR長野駅前広場
5月4日(月)	中学生サッカー大会/南長野運動公園総合球技場
5月14日(木)	50周年記念式典・祝賀会/ホテル国際21
5月15日(金)	エクスカッション・親睦ゴルフ/市内



LIONS TOPICS

～☆長野中央ライオンズクラブの「フェイスブック」が注目されています！～

I T関連会社「ロゴス」を経営する L. 若林秀幸の提案により、当クラブも「フェイスブック」を開設、タイムリーな情報発信に努めています。

「フェイスブック」は、誰でも登録（ログイン）でき、「友達」になることで無限大に横のネットワークが広がる 現代社会での情報必須アイテムです。例会の開催・アクティビティの様子などを「投稿（掲載）」することで、クラブの活動ぶりを広く内外に伝えることができます。

今後は、アクティビティを事前に告知投稿することにより、当日足を運んでいただくきっかけにすることも重要な役割と考えています。

現在、投稿記事に対し、近隣クラブのみならず 国内の多くのライオンズクラブから「いいね！」をいただくようになっており、「フェイスブック」を通じたPR活動が、当クラブの認知度アップに大きく貢献しています。

みなさんもお閲覧いただき「いいね！」をクリックしてください！



ドネーション

■ 12月5日(第一例会)

L. 北村 健一 12日お誕生日ありがとうございました。 2,000円	L. 竹内 伊吉 誕生日祝 ありがとうございました。(11/13) 2,000円
L. 清水 邦助 2,000円	L. 鹿住 みよ子 お誕生日祝い ありがとうございます。6?才も良い年でした。 2,000円
L. 有賀 良和 「仲道 郁代ピアノリサイタル」大成功に向けて皆さま、中央ライオンズクラブの力をみせましょう。担当委員会の皆さまご苦労さまです。 5,000円	
合計	13,000円

■ 12月22日(第二例会)

L. バナーバッジ 10,800円	L. 増田 隆雄 資金獲得事業(仲道 郁代ピアノリサイタル)には大変ご協力頂きありがとうございました。 2,000円
L. 増田 隆雄 絵解き例会 多数ご参加頂きありがとうございました。 3,000円	L. 竹内 邦雄 前会長 全員のご協力で、クラブ優秀賞受賞ありがとうございました。 10,000円
L. 北村 健一 クリスマス参加できなくて、すいません。 5,000円	L. 上野 仁 お誕生日ありがとうございました。 3,000円
L. 有賀 良和 「クリスマス家族合同例会」参加ありがとうございました。RR・YCEの両委員長様、ご苦労様です。 5,000円	L. 吉野 荘英 会長 初めてのサンタ役ありがとうございました。 10,000円
L. 金守 秀夫 LCIF委員長 クリスマス例会ご協力ありがとうございました。 1,000円	L. 高田 茂 お花ありがとうございました。 5,000円
L. 中島 しず枝 クリスマス例会お花代 43,700円	L. 中島 しず枝 バナーバッジドネーション 10,800円
L. 中島 しず枝 クリスマス例会ドネーション 44,000円	
合計	153,300円

■ 1月22日(第二例会)

L. 眞田 法海

ご迷惑をお掛けします。(しました。) 2,000円

L. 返町 とも子
一日役員の皆様お疲れ様です。眞田 法海L. 見事なテーマありがとうございました。
3,000円

L. 松本 節子
私のスポンサーライオン返町とも子先生に感謝です。いつもありがとうございます。
3,000円

L. 増田 隆雄
一日役員の皆様ありがとうございました。素晴らしい例会にして頂きましてご苦労様でした。
3,000円

L. 中島 英明
今日は、一日役員という非常な経験をありがとうございました。これから頑張ります。
3,000円

L. 上野 仁
誕生日祝い12月ありがとうございました。
3,000円

L. 岡田 典雄
お陰様で古希を迎える事が出来ました。
3,000円

L. 若林 秀幸
Lion誌写真の掲載ありがとうございます。
3,000円

L. 駒津 敏
誕生日のお祝いありがとうございます。羊年の年男として、平和な一年になるように努力します。
3,000円

L. 小林 一彦
三人目の孫誕生! 家族7人と犬一匹の家庭となりました。
5,000円

L. 有賀 良和
菜々美さん帰国報告ありがとうございました。一日役員の皆さまご苦労様でした。幹事のお仕事、本日は楽させて頂きました。
5,000円

L. 中島 しず枝
一日会長をつとめさせて頂きました。皆様のおかげで最高の時間をありがとうございました。
10,000円

L. 竹内 伊吉
私が理事長をしており、社会福祉法人「大志会」が運営しております。障害者支援施設「稲荷山太陽の園」が昨年12月23日天皇誕生日に天皇陛下より、全国の優良な、民間社会福祉事業施設、団体などに贈られる「御下賜金」を拝領致しました。これは、誠に名誉な事でありますので、ドネーション。
10,000円

L. 吉野 荘英
一日役員の皆様ご苦労様でした。
10,000円

ファイブ
1,000円

合計
67,000円

■ 2月22日(第一例会)

L. 吉野 荘英
フィリピン合同医療奉仕活動お疲れさまでした。
10,000円

L. 吉野 荘英
誕生日祝い、ありがとうございました。
3,000円

L. 有賀 良和
日本フィリピン合同医療奉仕活動無事全員帰国しました。2日間で患者さんは、内科・歯科・眼下合わせて合計10,244名の診察をしてきました。
2,000円

L. 小林 久次郎

誕生日ありがとう
3,000円

合計

18,000円



編集後記

50周年の節目の期である今期も新たな年を迎え、5月に控えた記念式典をはじめとする各事業の成功を期して、クラブ一丸となって歩みを進めています。

各部会においては入念な打ち合わせ会議などが重ねられていることが伝えられており、否応なく時間が経過する中、クラブの歴史を綴り、その節目の集大成となるべき50周年の記念事業が成功裏に実行されることを期待して止みません。

そのうえで私たちは、記念事業の成功という「結果」を訴求することはもとより、そこに向けて一丸となって協力・努力を重ねる「プロセス」の大切さについても思いをいたすべきと考えるところです。

「ライオンズム」という共通の理念の下、やはり共通の目標に向けて、ときに試行錯誤しながらも共に頑張ったことは、決して一過性のものではなく、いわば将来に向けて、長野中央オンズクラブという「舟」のオールと一緒に汗を流しながら漕いだ貴重な経験値として私たちの心に残り、今後さまざまな課題が生じたときにも、最後は力を合わせていこう! という「協力の原動力」になることと確信いたすところです。

PR委員会といたしましても、佳境に入った50周年のクラブの動きについて、でき得る限り判りやすく且つ克明に記録・報道してまいりたいと存じておりますので、引き続き温かいご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

PR・情報・記録保存・会報・IT委員会委員長
L. 倉野 立人

〔会報第290号〕

2015年3月12日

長野中央ライオンズクラブ

PR・情報・記録保存・会報・IT委員会

L. 倉野 立人

長野市妻科426-1

長野県建築士会館6階

☎ 026 (235) 3988

<http://nagano-chuo-lions.lgos.jp>